

平成24年度 第1回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成24年10月22日（月） 午後1時30分から

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 市長挨拶
- (3) 委嘱状交付
- (4) 職員紹介
- (5) 議題
- (6) その他
- (7) 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 下関市立市民病院の沿革
- ・資料2 地方独立行政法人制度の概要
- ・資料3 地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会について
- ・資料4 評価委員会所掌事務
- ・資料5 評価委員会関係業務関係図
- ・資料6 評価委員会の今後のスケジュール（案）
- ・資料7 年間計画の大項目と小項目について
- ・資料8 年度評価における大項目と小項目 一覧
- ・資料9 下関市立市民病院の業務実績に係る評価方法
- ・資料10 地方独立行政法人下関市立市民病院に対する評価の基本方針（案）
- ・資料11 地方独立行政法人下関市立市民病院の年度評価実施要領（案）
- ・資料12 平成〇〇事業年度に係る業務実績報告書（イメージ）
- ・資料13 年度評価の方法（先行事例との比較）
- ・資料14-1 地方独立行政法人下関市立市民病院 平成〇〇事業年度の業務実績に関する評価結果（イメージ）
- ・資料14-2 地方独立行政法人下関市立市民病院 平成〇〇事業年度の業務実績に関する評価結果参考資料（イメージ）
- ・資料15 年度評価・財務諸表フローチャート
- ・資料16 地方独立行政法人の評価等に関する関係法令

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成24年度第1回地方独立行政法人下関市立市民病院

評価委員会の概要

1. 開催日時
平成24年10月22日（月）13時30分～14時40分
 2. 開催場所
下関市立市民病院2階 講堂
 3. 出席者
地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会委員 5名
弘山委員長、飯野委員、林委員、杉浦委員、佐々木委員
中尾市長
国重副市長
地方独立行政法人下関市立市民病院 小柳理事長 ほか
事務局 病院事業部 綿谷部長ほか 5名
 4. 内容
 - ・市長挨拶
 - ・委嘱状交付
後任の飯野委員と佐々木委員に、市長から委嘱状を交付
 - ・職員紹介
国重副市長、法人、事務局の順に職員を紹介
- 質疑応答 （○委員発言 ▼市民病院発言 ■事務局発言）
- ・議題（1）「下関市立市民病院の沿革・概要について」
 - 資料1を説明
 - 質問なし

・議題（２）「地方独立行政法人制度について」

■資料２を説明

○質問なし

・議題（３）「評価委員会について」

■資料３～６を説明

○質問なし

・議題（４）「平成２３年度下関市中央病院会計決算について」

▼平成２３年度決算書の概要説明

○質問なし

・議題（５）「地方独立行政法人下関市立市民病院平成２４年度年度計画について」

▼平成２４年度年度計画の概要説明

○年度計画では断らない病院を目指しているということで、市民にとって非常に有難いことである反面、職員には負担になっていると思う。一時期、常勤の医師が最高９名くらい減った時期があったと思うが、その後の常勤医師の状況、人数はどうなっているのか。

▼救急については、今年４月から救急担当の外科医２名を増員している。市民病院の外科を担当する九大の外科教室からの好意で協力を頂いており、専門の医師がいることで、他の職員に対しても良い結果を与えている。全体の医師数は、少しずつ増えて来ている。一時期、５４、５５名であったのが、現在は６０名から６１名になっている。

○同じ医療を担当する医師会の立場からすると、常勤の医師を増やしてもらい、個人個人に掛かる荷重が負担にならないようにすることで、病院として成り立っている。それが市民のためにもなる。引き続き、常勤の医師、並びに看護師の採用について計画性を持ってやっていただきたい。人数が増えても人件費が負担とならないように、良いように回るように、職員の負担にならないように、モチベーションが上がるようにやっていただきたい。

○市民病院に関して言うと、診療科の数が多いと思う。市民病院だからかもしれない。どこの病院でも医師、看護師の確保に苦勞している。特に救急、小児医療は大変である。資料を拝見しただけで、内容を見ている訳ではないが、診療科が極めて多いという印象を受けている。これで効率化が出来るのかなと思う。

▼現在、34診療科があるが、今年3月までは24診療科であった。独法化を機に、標榜診療科を整理しようということで、医師から、こういう診療科を出してほしいとの要望があり、34診療科になった。

○診療科の表示を増やしたということか。

▼そのとおりである。

○実質的には大きな変化はないということで、専門科を前面に出して細分化したということだと思う。

○DPCの準備病院として取り組んでいるが、近々、DPCに移行する具体的な計画はあるのか。

▼2年後のDPCを目指して、準備病院になっている。

○経理のことはよく判らないが、DPCになると恐らく、こちらにいる専門家の方の分析よりだいたい少なくなると言われており、医師会とすればDPCのデータを活用して各病院の診療科で利用されるが、専門領域について患者さんが来られるための分析が可能になるので、是非、2年後、活用させていただきたい。

○地域医療支援病院を目指しているということで、努力していただいております、非常にありがたいことではあるが、紹介率、逆紹介率はどのくらいでという見込みはあるのか。

▼目標として目指してはいるが、数字的には厳しい状況である。今後、紹介率、逆紹介率を上げるよう大いに努力したい。

○是非、努力していただき、医師会としても市民のために協力させていただきたい。

○以前から地域医療センターが項目として挙がっているが、現在の進捗状況
というか、全体像が見えて来ないので、簡単で良いので地域医療センターの
現状はどうなっているのか説明してほしい。

▼元々の計画では、平成24年度に建築設計を終えて、平成25年度から建
設にかかることになっていたが、地域医療センターの中に入る予定だった健
診センターを透析センターと入れ替えることを検討中である。透析センター
を新しい施設に入れて、今の透析センターを改築して健診センターにする話
が出ている。経営的にもそちらの方がはるかに良い。計画変更が起きており、
平成24年度中の建築設計の終了は少し遅れる。少し遅れるだけで進めてい
きたい。

- ・議題（6）「地方独立行政法人下関市立市民病院の評価基準等の作成について」
■資料7～17を説明

○質問なし

- ・「その他」について、事務局より説明

■本日は評価の仕方、流れについて説明したが、来月の評価委員会では、本
日の資料10・11の基本方針と実施要領について各委員に検討していただ
きたい。評価基準の70%とか90%という数字が出ているが、これも記載
するか記載しないか、このパーセンテージについても、他市の事例を示して
評価委員会で決めていただきたいと考えている。

■業務実績報告書と評価結果のイメージについても、これでスタートしてい
きたいと考えている。その後、毎年、続けて改善していく方法もあると思う。
次回の評価委員会で決めたいと思う。

■第2回の評価委員会は11月21日（水）13：30から同じ場所（市民
病院2階講堂）で開催する予定である。